安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : PEG化タンパク質測定ELISAキット
製品番号 : ADI-900-213-0001 （メーカー略号: ENZ）
構成品名 : Stop Solution 2
会 社 名 : コスモ・バイオ株式会社
住　　所 : 東京都江東区東陽二丁目２番２０号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610　FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性（吸入）: 区分 4
皮膚腐食性/刺激性: 区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 1
呼吸器感作性: 区分 1
特定標的臓器毒性（単回ばく露）: 区分 2(呼吸器系)
特定標的臓器毒性（反復ばく露）: 区分 2(歯、呼吸器系)

環境有害性

水生環境有害性　短期(急性): 区分 2

GHSラベル要素

注意喚起語: 危険

危険有害性情報

吸入すると有害
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ
臓器の障害のおそれ(呼吸器系)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(歯、呼吸器系)
水生生物に毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
直ちに医師に連絡すること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合:多量の水で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合:水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

廃棄
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有量(%)	CAS RN®	化審法番号
塩化水素	3.7	7647-01-0	1-215

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分
安衛法「表示・通知すべき有害物」該当成分　塩化水素

4. 応急措置

吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚を多量の水で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合
水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合
口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。
医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護
救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。
適切な換気を確保する。

医師に対する特別な注意事項
腐食性/刺激性製品。触れた物質を完全に洗い流す必要がある。
アレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれがある製品。症状が遅れて出ることがある。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤
水噴霧、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤
棒状放水

特有の危険有害性
火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法

消火水の下水への流入を防ぐ。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

回収が終わるまで充分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

皮膚や眼との接触やエアロゾルの生成を避けること。

(注意事項)

吸入によりアレルギー、ぜん息または、呼吸困難を起こすおそれがある。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

4℃で保存すること。容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : データなし

許容濃度

(塩化水素)

日本産衛学会(2014)(最大許容濃度) 2ppm; 3.0mg/m3

(塩化水素)

ACGIH(2002) STEL: 上限値 2ppm (上気道刺激)

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
色 : データなし
臭い : データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
可燃性(ガス、液体及び固体) : データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
pH : 強酸性
動粘性率 : データなし
蒸気圧 : データなし
密度及び/又は相対密度 : データなし
相対ガス密度(空気=1) : データなし
粒子特性 : 該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

金属との接触で水素ガスを発生する。酸化性物質と激しく反応し、塩素ガスを生成する。
塩基と反応して発熱し、腐食性を示す。

避けるべき条件

直射日光、熱、高温

混触危険物質

強塩基、強酸化性物質、金属

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]
(塩化水素)
rat LD50=238mg/kg (SIDS, 2009)

急性毒性(吸入)

[製品]
区分 4, 吸入すると有害
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(塩化水素)
mist: rat LC50=0.42mg/L/4hr (SIDS, 2009)
gas: rat LC50=1411ppm/4hr (SIDS, 2009)
労働基準法:疾病化学物質
塩化水素
局所効果
皮膚腐食性/刺激性
[製品]
区分 2, 皮膚刺激
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(塩化水素)
ラビット/マウス/ラット/ヒト 腐食性 (SIDS, 2009)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[製品]
区分 1, 重篤な眼の損傷
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(塩化水素)
ラビット 腐食性 (SIDS, 2002)
呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器感作性
[製品]
区分 1, 吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(塩化水素)
cat. 1; 日本職業・環境アレルギー学会
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性
[IARC]
(塩化水素)
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
[ACGIH]
(塩化水素)
A4(2002) : ヒト発がん性因子として分類できない
催奇形性 : データなし
生殖毒性 : データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[製品]
区分 2, 臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(塩化水素)
呼吸器系 (ACGIH, 2003)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[製品]
区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(塩化水素)
歯、呼吸器系 (SIDS, 2002)
誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性
[製品]
区分 2, 水生生物に毒性
[成分データ]
水生環境有害性　短期(急性)
[日本公表根拠データ]
(塩化水素)
甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.492mg/L/48hr (SIDS, 2005)
水溶解度
(塩化水素)
67 g/100 ml (30℃) (ICSC, 2000)
残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性
(塩化水素)
log Pow=0.25 (ICSC, 2000)
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
容器の再使用、リサイクルは不可。地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号またはID番号 : 1789
品名(国連輸送名) : 塩酸
国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 8
容器等級 : III
指針番号 : 157

注意事項　輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
有害液体物質(Z類)　塩化水素

国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法　腐食性物質　分類8
航空法　腐食性物質　分類8

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法
　特化則 特定化学物質 第3類 塩化水素
　名称等を表示すべき危険/有害物 塩化水素(別表第9の98)
　名称等を通知すべき危険/有害物 塩化水素(別表第9の98)
化学物質管理促進(PRTR)法 : 非該当
消防法 : 非該当
化審法 : 非該当
大気汚染防止法
　ばい煙 有害物質 政令第1条第1号から第5号 塩化水素
　特定物質 政令第10条第1号から第28号 塩化水素
水質汚濁防止法
　指定物質 塩化水素 法令番号 5

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21st edit., 2019 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)
2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : PEG化タンパク質測定ELISAキット
製品番号 : ADI-900-213-0001 （メーカー略号: ENZ）
構成品名 : Conjugate
会 社 名 : コスモ・バイオ株式会社
住　　所 : 東京都江東区東陽二丁目２番２０号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610　FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類
健康に対する有害性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）:区分 2（血液）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）:区分 2（血液）
GHSラベル要素

注意喚起語:警告
危険有害性情報
臓器の障害のおそれ（血液）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（血液）
注意書き
安全対策
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
廃棄
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有量(%)	CAS RN®	化審法番号
硝酸銅	0.15	3251-23-8	1-296
硝酸マグネシウム	2.3	10377-60-3	1-464

上記以外の成分 : 0.001% 2-Methyl-4-isothiazolin-3-one (CAS RN®:2682-20-4)
注記:これらの値は、製品規格値ではありません。
危険有害成分
安衛法「表示すべき有害物」該当成分
硝酸マグネシウム(令和7年4月1日施行)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分
硝酸銅 ,
硝酸マグネシウム(令和7年4月1日施行)

4. 応急措置

吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚を水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合
口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤
適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤
データなし
特有の危険有害性
火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
消火を行う者の保護
消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
回収が終わるまで充分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
環境に対する注意事項
下水、排水中に流してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
(取扱者のばく露防止)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
接触回避
「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保管
安全な保管条件
4℃で保存すること。容器を密閉して涼しく換気のよい場所に保管すること。

安全な容器包装材料
本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : データなし
許容濃度 : データなし
ばく露防止
設備対策
洗眼設備・安全シャワーを設けること。
保護具
呼吸用保護具
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
色 : 青色
臭い : データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
可燃性(ガス、液体及び固体) : データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
pH : データなし
動粘性率 : データなし
蒸気圧 : データなし
密度及び/又は相対密度 : データなし
相対ガス密度(空気=1) : データなし
粒子特性 : 該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性
データなし
化学的安定性
通常の取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
データなし
避けるべき条件
直射日光、高温
混触危険物質
データなし
危険有害な分解生成物
データなし

11. 有害性情報

急性毒性 : データなし
局所効果
皮膚腐食性/刺激性 : データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(硝酸マグネシウム)
ラビット Draize test: 軽度の刺激性 (IUCLID, 2000 et al)
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性 : データなし
催奇形性 : データなし
生殖毒性 : データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[製品]
区分 2, 臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(硝酸マグネシウム)
血液 (ECETOC TR 27, 1988)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[製品]
区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(硝酸マグネシウム)
血液 (ECETOC TR 27, 1988)
誤えん有害性 : データなし
潜在的な健康への影響 : 吸入や接触、摂取によりアレルギー反応を起こすおそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性 : データなし
水溶解度
(硝酸マグネシウム)
非常によく溶ける (ICSC, 2003)
残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 : 非該当

注意事項　輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報 : 非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法
　名称等を表示すべき危険/有害物
　　硝酸マグネシウム(別表第9,令和7年4月1日施行)
　名称等を通知すべき危険/有害物
　　硝酸銅(別表第9の379);
　　硝酸マグネシウム(別表第9,令和7年4月1日施行)
化学物質管理促進(PRTR)法 : 非該当
消防法 : 非該当
化審法 : 非該当
大気汚染防止法
　有害大気汚染物質
　　硝酸銅
水質汚濁防止法
　有害物質
　　硝酸銅
　　法令番号 26: 100mg-(アンモニア性窒素×0.4+亜硝酸性窒素+硝酸性窒素)/liter
　　硝酸マグネシウム
　　法令番号 26: 100mg-(アンモニア性窒素×0.4+亜硝酸性窒素+硝酸性窒素)/liter
　指定物質
　　硝酸銅 法令番号 53

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : PEG化タンパク質測定ELISAキット
製品番号 : ADI-900-213-0001 （メーカー略号: ENZ）
構成品名 : TMB Substrate
会 社 名 : コスモ・バイオ株式会社
住　　所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610　FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類
健康に対する有害性
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 2
生殖毒性:区分 1B
GHSラベル要素

注意喚起語:危険
危険有害性情報
強い眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
注意書き
安全対策
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。
廃棄
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
慣用名又は別名 : N-メチル-2- ピロリドン(1-メチル-2-ピロリドン)

成分名	含有量(%)	CAS RN®	化審法番号
1-メチル-2-ピロリドン	5.0	872-50-4	5-113

上記以外の成分 : ≦2% 3,3',5,5' tetramethylbenzidine (CAS RN®:54827-17-7),
≦0.5% 過酸化尿素(CAS RN®:124-43-6), < 0.1% 過酸化水素(CAS RN®:7722-84-1)

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示・通知すべき有害物」該当成分　1-メチル-2-ピロリドン

化管法(令和5年4月1日施行)「第1種指定化学物質」該当成分　1-メチル-2-ピロリドン

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診察/手当てを受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで充分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

皮膚や眼との接触や吸入を避けること。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
保管
安全な保管条件
4℃で保存すること。光を避けること。容器を密閉して涼しく換気のよい場所に保管すること。
安全な容器包装材料
本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : データなし
許容濃度
(1-メチル-2-ピロリドン)
日本産衛学会(2002) 1ppm; 4mg/m3 (皮)
ばく露防止
設備対策
適切な換気のある場所で取扱う。
洗眼設備・安全シャワーを設けること。
保護具
呼吸用保護具
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
色 : データなし
臭い : データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
可燃性(ガス、液体及び固体) : データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
pH : データなし
動粘性率 : データなし
蒸気圧 : データなし
密度及び/又は相対密度 : データなし
相対ガス密度(空気=1) : データなし
粒子特性 : 該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性
データなし
化学的安定性
通常の取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
データなし
避けるべき条件

光、熱
混触危険物質
強酸化性物質
危険有害な分解生成物
炭素酸化物、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性
急性毒性(経口)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(1-メチル-2-ピロリドン)
rat LD50=3500mg/kg (DFGOT vol.10, 1998)
(過酸化尿素)
female rat LD50 >2000mg/kg (REACH登録情報, Access on Dec. 2019)
局所効果
皮膚腐食性/刺激性
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(1-メチル-2-ピロリドン)
ヒト 軽度から中等度の一過性刺激 (SIDS, 2009)
(過酸化尿素)
in vitro test; 細胞生存率: 72.8% (3min./exposure time), 19.3% (60min./exposure time) (OECD TG431)(REACH登録情報, Access on Dec. 2019)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[製品]
区分 2, 強い眼刺激
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(1-メチル-2-ピロリドン)
ラビット 中等度から強度の刺激性 (DFGOT vol.10, 1998)
(過酸化尿素)
平均刺激性スコア(IVIS): 99.44 (BCOP, OECD TG437) (REACH登録情報, Access on Dec. 2019)
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性 : データなし
生殖毒性
[製品]
区分 1B, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(1-メチル-2-ピロリドン)
cat. 1B; SIDS, 2009
催奇形性 : データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[成分データ]
[区分3(麻酔作用)]
[日本公表根拠データ]
(1-メチル-2-ピロリドン)
麻酔作用 (CICAD 35, 2001)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[成分データ]

[区分2]
[日本公表根拠データ]
(1-メチル-2-ピロリドン)
骨髄、肝臓、神経系、肺 (CICAD 35, 2001)
誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性
[成分データ]
水生環境有害性　短期(急性)
[日本公表根拠データ]
(1-メチル-2-ピロリドン)
藻類 (セネデスムス) EC50 >500mg/L/72hr (SIDS, 2009)
水溶解度
(1-メチル-2-ピロリドン)
100 g/100 ml (SRC, 2005)
残留性・分解性
[成分データ]
(1-メチル-2-ピロリドン)
急速分解性あり (BOD(NO2)分解度=73%/28 days; BOD(NH3)分解度=94%/28 days; TOC分解度=96%/28 days; GC分解度=100%/28 days (通産省公報, 1989))
生体蓄積性
[成分データ]
(1-メチル-2-ピロリドン)
log Pow=-0.38 (ICSC, 2014)
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 : 非該当

注意事項　輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
有害液体物質(Y類) 1-メチル-2-ピロリドン

国内規制がある場合の規制情報 : 非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険/有害物
1-メチル-2-ピロリドン(別表第9の588の2(令和6年3月31日まで),別表第9の588の3(令和6年4月1日施行))
名称等を通知すべき危険/有害物
1-メチル-2-ピロリドン(別表第9の588の2(令和6年3月31日まで),別表第9の588の3(令和6年4月1日施行))
化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効): 非該当
化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)
第1種指定化学物質 N-メチル-2-ピロリドン(5.0%)[1-メチル-2-ピロリドン]
消防法 : 非該当
化審法
優先評価化学物質 1-メチル-2-ピロリドン(政令番号136 人健康影響)

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21st edit., 2019 UN
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2021 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : PEG化タンパク質測定ELISAキット
製品番号 : ADI-900-213-0001 （メーカー略号: ENZ）
構成品名 : Assay Buffer 39 Concentrate
会 社 名 : コスモ・バイオ株式会社
住　　所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610　FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 2
特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 2(消化管)

環境有害性

水生環境有害性　短期(急性):区分 2
水生環境有害性　長期(慢性):区分 3

GHSラベル要素

注意喚起語:警告

危険有害性情報

強い眼刺激
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(消化管)
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

気分が悪いときは医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有量(%)	CAS RN®	化審法番号
硫酸亜鉛	1.6	7733-02-0	1-542
アジ化ナトリウム	0.09	26628-22-8	1-482

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示・通知すべき有害物」該当成分　硫酸亜鉛(令和7年4月1日施行)

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師の診察/手当てを受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法

消火水の下水への流入を防ぐ。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで充分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

（取扱者のばく露防止）
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
安全取扱注意事項
保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避
「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
保管
安全な保管条件
4℃で保存すること。容器を密閉して涼しく換気のよい場所に保管すること。
安全な容器包装材料
本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 ： データなし
許容濃度
（アジ化ナトリウム）
ACGIH(1996) STEL: 上限値 （アジ化ナトリウムとして）0.29mg/m3;（アジ化水素酸の蒸気として）
0.11ppm（心臓障害; 肺損傷）
ばく露防止
設備対策
洗眼設備・安全シャワーを設けること。
保護具
呼吸用保護具
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 ： 液体
色 ： データなし
臭い ： データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲 ： データなし
可燃性（ガス、液体及び固体） ： データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 ： データなし
引火点 ： データなし
自然発火点 ： データなし
分解温度 ： データなし
pH： データなし
動粘性率 ： データなし
蒸気圧 ： データなし
密度及び/又は相対密度 ： データなし
相対ガス密度(空気=1)： データなし
粒子特性 ： 該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性
データなし
化学的安定性
通常の取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
データなし
避けるべき条件
直射日光、高温
混触危険物質
強酸化性物質
危険有害な分解生成物
硫黄酸化物、酸化亜鉛

11. 有害性情報

急性毒性
急性毒性(経口)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(硫酸亜鉛)
rat LD50=561.5-1123mg/kg (換算値) (農薬工業会, 1994)
(アジ化ナトリウム)
rat LD50=45mg/kg (DFGOT vol.20, 2003)
急性毒性(経皮)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(アジ化ナトリウム)
rabbit LD50=20mg/kg (ACGIH, 2001)
労働基準法:疾病化学物質
アジ化ナトリウム
局所効果
皮膚腐食性/刺激性
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(アジ化ナトリウム)
ラビット 腐食性 (DFGOT vol.20, 2003)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[製品]
区分 2, 強い眼刺激
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(硫酸亜鉛)
重度の刺激性R41 (ECクライテリア)
(アジ化ナトリウム)
皮膚腐食性 区分1
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性
[ACGIH]
(アジ化ナトリウム)
A4(1996) : ヒト発がん性因子として分類できない
生殖毒性
[成分データ]
[日本公表根拠データ]

(硫酸亜鉛)
cat. 2; ATSDR, 2005
催奇形性 : データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[成分データ]
[区分2]
[日本公表根拠データ]
(硫酸亜鉛)
消化管、呼吸器 (NITE, 2008; EU-RAR, 2004)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[製品]
区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(硫酸亜鉛)
消化管 (EU-RAR, 2004; ATSDR, 2005; NITE, 2008)
誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性
[製品]
区分 2, 水生生物に毒性
区分 3, 長期継続的影響によって水生生物に有害
[成分データ]
水生環境有害性　短期(急性)
[日本公表根拠データ]
(硫酸亜鉛)
甲殻類 (Daphnia hyalina) LC50＝0.099mg/L/48hr (EHC 221, 2001)
(アジ化ナトリウム)
藻類 (Pseudokirchneriellasubcapitata) ErC50=0.348mg/L/96hr (Aquire, 2010)
水生環境有害性　長期(慢性)
[日本公表根拠データ]
(硫酸亜鉛)
藻類 (ニッチア) NOEC=0.0246mg/L/72hr (EU-RAR, 2010)
水溶解度
(硫酸亜鉛)
22 g/100 ml (20℃) (ICSC, 2007)
(アジ化ナトリウム)
よく溶ける (41.7 g/100 ml, 17℃) (ICSC, 2014)
残留性・分解性
[成分データ]
(アジ化ナトリウム)
直接測定(HPLC)による分解度:1% (既存点検)
生体蓄積性
[成分データ]
(硫酸亜鉛)
log Pow=-0.07 (ICSC, 2007); BCF=242 (Check & Review, Japan)
(アジ化ナトリウム)
log Pow <= 0.3 (Check & Review, Japan)
土壌中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 : 非該当

注意事項　輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報 : 非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険/有害物　硫酸亜鉛(別表第9,令和7年4月1日施行)

名称等を通知すべき危険/有害物　硫酸亜鉛(別表第9,令和7年4月1日施行)

化学物質管理促進(PRTR)法 : 非該当

消防法 : 非該当

化審法 : 非該当

大気汚染防止法

有害大気汚染物質　硫酸亜鉛

水質汚濁防止法

指定物質　硫酸亜鉛　法令番号　54

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)
Supplier's data/information
ICSC　国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : PEG化タンパク質測定ELISAキット
製品番号 : ADI-900-213-0001 （メーカー略号: ENZ）
構成品名 : ①Microtiter Plate
②PEG-BSA Assay Control
③Biotinylated PEG
④Wash Buffer 3 Concentrate
⑤Conjugate Diluent
会 社 名 : コスモ・バイオ株式会社
住　　所 : 東京都江東区東陽二丁目２番２０号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610　FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類
本商品はGHS分類に該当しない

GHSラベル要素
該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
成分 : Antibody（①）、0.09% アジ化ナトリウム(CAS RN®:26628-22-8)（②、③）、
PBS, detergents, 0.002% 5-Chloro-2-methyl-4-isothiazolin-3-one(CAS RN®:26172-55-4),
0.001% 2-Methyl-4-isothiazolin-3-one (CAS RN®:2682-20-4)（④）、
TBS, Proteins, 0.002% 5-Chloro-2-methyl-4-isothiazolin-3-one,
0.001% 2-Methyl-4-isothiazolin-3-one（⑤）

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。
危険有害成分
毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚を水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合
口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで充分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

落下させないこと。衝撃を与えないこと。(①)

安全取扱注意事項

取扱い後は手、汚染個所をよく洗う。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

4℃で保存すること。

安全な容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : データなし

許容濃度

(アジ化ナトリウム)

ACGIH(1996) STEL: 上限値 (アジ化ナトリウムとして) 0.29mg/m3; (アジ化水素酸の蒸気として) 0.11ppm (心臓障害; 肺損傷)

ばく露防止

設備対策

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 ： 液体(②～⑤)
色 ： データなし(②、④)　赤色(③)　青色(⑤)
臭い ： データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲 ： データなし
可燃性(ガス、液体及び固体) ： データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 ： データなし
引火点 ： データなし
自然発火点 ： データなし
分解温度 ： データなし
pH ： データなし
動粘性率 ： データなし
蒸気圧 ： データなし
密度及び/又は相対密度 ： データなし
相対ガス密度(空気=1) ： データなし
粒子特性 ： 該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性
データなし
化学的安定性
通常の取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
通常使用の条件下では危険な反応は知られていない。
避けるべき条件
直射日光、熱
混触危険物質
強酸化性物質
危険有害な分解生成物
データなし

11. 有害性情報

急性毒性
急性毒性(経口)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(アジ化ナトリウム)
rat LD50=45mg/kg (DFGOT vol.20, 2003)
急性毒性(経皮)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(アジ化ナトリウム)
rabbit LD50=20mg/kg (ACGIH, 2001)

労働基準法:疾病化学物質
アジ化ナトリウム
局所効果
皮膚腐食性/刺激性
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(アジ化ナトリウム)
ラビット 腐食性 (DFGOT vol.20, 2003)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(アジ化ナトリウム)
皮膚腐食性 区分1
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性
[ACGIH]
(アジ化ナトリウム)
A4(1996) : ヒト発がん性因子として分類できない
催奇形性 : データなし
生殖毒性 : データなし
特定標的臓器毒性(単回/反復ばく露) : データなし
誤えん有害性 : データなし
潜在的な健康への影響 : 吸入や接触、摂取によりアレルギー反応を起こすおそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性
[成分データ]
水生環境有害性 短期(急性)
[日本公表根拠データ]
(アジ化ナトリウム)
藻類 (Pseudokirchneriellasubcapitata) ErC50=0.348mg/L/96hr (Aquire, 2010)
水溶解度
(アジ化ナトリウム)
よく溶ける (41.7 g/100 ml, 17℃) (ICSC, 2014)
残留性・分解性
[成分データ]
(アジ化ナトリウム)
直接測定(HPLC)による分解度:1% (既存点検)
生体蓄積性
[成分データ]
(アジ化ナトリウム)
log Pow <= 0.3 (Check & Review, Japan)
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装

容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 ： 非該当

注意事項　輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報 ： 非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 ： 非該当
労働安全衛生法 ： 非該当
化学物質管理促進(PRTR)法 ： 非該当
消防法 ： 非該当
化審法 ： 非該当

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21st edit., 2019 UN
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)
Supplier's data/information
ICSC　国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。